

第12回

冬の定期発表会

2023年12月22日(金)

於 スタジオ・エンザ



1. 演奏者 草野 文喜

演奏曲 調子の良い鍛冶屋

作曲 ヘンデル

調子が良くなるか悪くなるか不安あります。

まずはオープニングにふさわしい軽快な曲で発表会スタートです。陽気な曲調と共に人々の楽しい会話や踊りありの人生そのものを感じる明るい曲となっています。

日本では「調子の良い鍛冶屋」という訳語が定着していますが「調子の良い」はHarmoniousを翻訳したもので、リズムカルに調子が良いという意味ではありません。

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685-1759)はバロック時代後期を代表する作曲家であらゆるジャンルに作品を残し人間味あふれる音楽ドラマを描き、同年に生まれたバッハと共にバロックの巨人匠と言われています。



2. 演奏者 丸山 登

① 演奏曲 ヴェネチアの舟歌

作曲 メンデルスゾーン

この曲はメンデルスゾーンの「無言歌第1集作品19」というピアノ独奏曲を、ターレガがギター曲に編曲したものです。ハーモニックスが入っているのがおもしろいので挑戦してみようと思いました。(今では、ちょっと後悔も...)

② 演奏曲 城ヶ島の雨

作曲 梁田 貞 (やなだ ただし)

北原白秋のつくった詞「城ヶ島の雨」に、梁田 貞が洋楽の技法で日本古来の美しさを歌い出す大和楽として曲をつけたものです。曲・歌詞共に本来の日本的な美しさをもった大好きな曲に挑戦します。

「城ヶ島の雨」は1913年に発表されました。

歌詞の中にある「利休鼠」は茶人の千利休にちなんだ色のことで、抹茶の緑色とわび茶の雰囲気を感じて表した色合いのことです。また「通り矢」は、城ヶ島大島付近は岩礁のため潮の流れが速くこのように呼ばれたそうです。昔の曲は一つ一つの言葉が深いですね。



3. 演奏者 福崎 實

① 演奏曲 アルハンブラの思い出 作曲 フランシスコ・タレガ

昨年12月の発表会から3回目になります。
なかなか上達しませんがLife jobとして挑戦していきます。

② 演奏曲 小さなロマンス 作曲 ルイス・ワルカー

以前一度発表会で弾いた曲ですが、非常に馴染みやすい曲なので自分の持ち曲の一つにしたいと思います。

イスラム王朝が最後の時を刻んだ古都グラナダにそびえるアルハンブラ宮殿は訪れるもの全てを魅了する幻想的な宮殿です。
ギタリストのタレガによって1896年に作曲されたこの曲は「トレモロ奏法」によりクラシックギターのもの悲しくも優美な音色を存分に味わえる曲となっています。

毎回聴かせていただき、行かずともこの美しい宮殿がより身近に感じられるようになりました。



4. 演奏者 山本 周治

① 演奏曲 小さい秋見つけた 作詞 サトウハチロー
作曲 中田 喜直
編曲 青木 一男

童謡ですがギターによく合います。1962年にボニー・ジャックスの歌でLPレコードに収録されました。YouTubeで編曲者の演奏を聴き私も弾いてみることにしました。

② 演奏曲 みだれ髪 作詞 星野 哲郎
作曲 船村 徹

① サトウハチローは3歳の時、熱湯で脇腹に大やけどを負いその後遺症で家にこもりがちな日々を余儀なくされました。そんな折、自宅のはげの木が紅葉したのを見てこの曲を作詞したと伝えられていますが、幼少期の寂しい体験が色濃く感じられます。

② 福島県いわき市に立つ塩屋崎灯台を舞台にしたこの曲は、美空ひばりが1987年に長期入院から退院した復帰第一作としてレコーディングされました。ギターの響きが心地よく、美空ひばりの歌唱力と相まって深い哀愁を覚え日本人の心を揺さぶる曲となっています。



5. 演奏者 横山 晶子

① 演奏曲 枯葉

作曲 ジョゼフ・コズマ

異常な猛暑が収まり、ふと気づくと落ち葉が風に舞っています。
今回はそんな季節にシャンソンに挑戦したいと思います。
シャンソンの代表曲の一つで1945年に作られたこの曲は、ミディアム
スローテンポの短調のバラードで、その後イブモンタンなど様々な歌手
によってカバーされています。フランス語独特のソフトな色香が漂い、
なんとか自分も真似て歌いたいと仮名を振ったもののやはり断念したの
を思い出します。

② 演奏曲 お正月

作曲 滝 廉太郎

令和5年もいよいよ残りわずかとなりました。
皆様にとってどんな一年でしたか。
今年を振り返りながら大掃除をしてお正月の準備。
大晦日は紅白歌合戦を観て除夜の鐘を聞く。
お正月は箱根路をひた走る若者に声援を送る。
(もうそんな時代ではありませんが...)
平和でやはり日本っていいですね。

どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。



演奏者 佐藤 茂勝 先生

演奏曲 秋止符(しゅうしふ)

作詞 谷村 新司

作曲 堀内 孝雄

アリス、70年代の～古い曲

楽しかった夏、そして秋に終わってしまった恋の歌？

アリスの17枚目のシングル「3年B組金八先生」の「15才の母」の
テーマ曲で昭和54年(1979年)のヒット曲です。ちなみに「秋止符」は
造語です。

「左ききのあなたの手紙、右手でなぞって真似てみる...」のメロディを耳
にした途端に頭の中はあの頃にタイムスリップ。
「あの夏の日がなかったら楽しい日々が続いたのに...」と続く美しい
歌詞は秋の情景を膨らませ、そして聴き手の心に染み渡ります。

秋になりかかった時の谷村さんの
訃報に驚きました。素晴らしいたくさん
の曲をありがとうございました。

心からご冥福をお祈りいたします。

